

2021 ひろしま避難者の会「アスチカ」会員情報のまとめとアンケート(配布用)

2021.3.9

ひろしま避難者の会「アスチカ」

【ひろしま避難者の会「アスチカ」とは？】

避難者による避難者のための会です。

東日本大震災の地震や津波、東京電力福島第一原発事故の避難者がここ広島で生活の基盤や気持ちを整えたり、同じ思いの仲間を見つけたりしながら、避難生活を落ち着かせ、次のステップへ踏み出すことをサポートする当事者団体として設立しました。現在、アスチカには102世帯336名の避難者が登録しています。

※「アスチカ」＝「明日へすすむ力」

表1 広島県把握の避難者数

	世帯数(人数)	%
岩手	1 (2)	0.9
宮城	26 (49)	22.4
福島	61 (167)	52.6
その他(関東地方など)	28 (69)	24.1
計	116 (287)	

2021年1月31日

表1の人数は全国避難者情報システム(総務省)への本人からの登録により把握されている人数です。すべての避難・移住者が登録しているものではありません。広島県にも未登録の避難者が数多くいます。また、登録解除をされる方もいます。3.11から10年の間、正確な避難者数の取りまとめは行われたことはなく、全国の支援者からはそれが今も求められています。

表2 アスチカ会員世帯 避難元別

	世帯数(人数)	%
岩手県	0 (0)	0.0%
宮城県	9 (29)	8.8%
福島県	48 (156)	47.1%
関東地方	45 (151)	44.1%
計	102 (336)	

2021年2月28日

新規入会世帯は2世帯。退会3世帯。

102世帯のうち4世帯は現在他県在住。広島から他の土地へ移られても情報の獲得やつながりを維持したい方は会員(準)として登録いただいています。

表3 アスチカ会員 世帯状況

	世帯数	%
単身	7	6.9%
大人のみ	17	16.7%
大人+子ども世帯	78	76.5%
(うち母子世帯)	17	16.7%

子どもは18歳以下をカウント。2011年に生まれた子どもも今年は小学4~5年生。震災時小学1年生だった子どもは現在高校2年生となっている。子どもが成長し、世帯全員が19歳以上となって大人のみ世帯とカウントされる世帯も出てきました。

アスチカ会員アンケート結果 回収数 38世帯／102世帯(回収率 37.3%)

2月17日(水)郵送により配布 3月4日(木)までの回答分を集計

Q1 全国避難者登録システムに登録されていますか？

	回答数	%
登録している	23	60.5
登録していない	14	36.8
無回答	1	2.6

登録は任意。登録していても、引っ越し後には自分で変更手続きが必要になる。変更の手続き漏れなども散見される。

登録の継続希望

	回答数	%
継続する	19	82.6%
解除したい	3	13.0%
無回答	1	4.3%

登録していない理由 (複数回答あり)

	回答数	%
システムを知らない	3	21.4
登録するメリットを感じない	1	7.1
登録する対象でないと思っている	5	35.7
申請が手間	0	0.0
その他	3	21.4
無回答	2	14.3

Q2 住民票は異動しましたか？

	回答数	%
異動した	35	92.1
異動していない	3	7.9

異動した理由 (複数回答あり)

	回答数	%
移住だから	14	40.0
今、住んでいる場所だから	15	42.9
避難先へ納税	0	0.0
仕事の都合	4	11.4
子どもの保育園や学校の都合	7	20.0
公営住宅入居のため	2	5.7
その他	3	8.6

(異動した理由・その他)
 ・主人の介護のため
 ・いろいろな手続きするのに不便だったため

異動しない理由 (複数回答あり)

	回答数	%
不都合がない	1	33.3
家族のつながり	1	33.3
避難元の子どもの医療費支援が充実	1	33.3
福島県県民健康調査などの健康管理の維持	0	0.0
避難元への愛着	1	33.3
復興住宅への入居意向のため	0	0.0
その他	1	33.3

(異動しない理由／その他)
 ・仕事のため

Q3 避難の理由は何ですか？

(複数回答あり)

	回答数	%
地震による家屋の消失・損壊	3	7.9
津波による家屋の消失・損壊	1	2.6
原発事故による強制避難	3	7.9
原発事故による健康影響(含、不安)	31	81.6
仕事なくなった	2	5.3
精神的ストレス	11	28.9
余震への不安	12	31.6
原発事故悪化への不安	17	44.7
その他	3	7.9
無回答	1	2.6

広島には原発事故の影響で避難した人が多く、土地柄もあり、原発事故への感心も高く持っていていただきます。

しかし、津波と地震の影響で広島に来ている人も確実におり、広島での定住を決めている方もいます。そういう方がいることも知っていただけると嬉しいです。

(その他・自由記入)

- ・仕事のため
- ・自営の仕事が出来なくなったため
- ・事故後に転勤を打診されたため

Q4 広島へ避難された理由は何ですか？

(複数回答あり)

	回答数	%
地震等自然災害が少ない	6	15.8
被災地から遠い	13	34.2
自然に恵まれている	4	10.5
被爆地であることへの期待	5	13.2
生活が便利	3	7.9
家族・親族がいる	20	52.6
友人・知人がいる	6	15.8
知っている避難者がいる	1	2.6
たまたま仕事が見つかった	8	21.1
以前住んだことがある	3	7.9
西の食材が手に入りやすい	11	28.9
一時避難・保養に来た縁	2	5.3
避難者への支援がある	3	7.9
その他	3	7.9

(その他・自由記入)

- ・市営住宅への入居が決まったから
- ・住宅の確保
- ・転勤

避難の時期が早い会員は「家族・親族がいる」の選択が多め。関東からの避難者は仕事を確実に決めてから移動されている場合が多い。「被災地から遠い」「西の食材が手に入りやすい」という選択が多いのは原発事故での避難者が多いから。

高校卒業後の子どもの進学に合わせ、広島に来られた世帯もある。

Q5 現在お住まいの住宅は？

【住宅支援を受けている方】

	回答数	%
県営住宅	2	5.3
市・町営住宅	0	0.0
ビレッジハウス (旧雇用促進住宅)	0	0.0
民間借り上げ住宅	0	0.0
その他	0	0.0

【住宅支援を受けていない方】

	回答数	%
県営住宅	1	2.6
市・町営住宅	0	0.0
ビレッジハウス (旧雇用促進住宅)	0	0.0
民間賃貸住宅	15	39.5
実家、親戚宅	3	7.9
持ち家	13	34.2
その他	3	7.9
無回答	1	2.6

(その他) 親族の使用していない家

Q6 お住まいでのお悩みはありますか？

	回答数	%
はい	15	39.5
いいえ	22	57.9
無回答	1	2.6

- ・子供の進学に伴い、引っ越しをするようになるかもしれない
- ・好意でお借りしているが、先々どうなっていくか不安。修理は自分でやっているので大変。
- ・中古物件で築20年以上経過しているため、リフォームや修繕が必要になって来た。
- ・実家は平屋で狭く、私も息子も自分の部屋がない。息子は今年小5。そろそろ部屋も必要かなと思っている。
- ・家賃が高い
- ・(他の)居住者とのトラブル
- ・子供の独立に伴い、夫婦二人だけの生活に変化したため、もう少し部屋数の少ない賃貸への転居等々思案中。住居費を抑えたい。
- ・土砂災害の心配があること。
- ・膝が悪くなってきたので、エレベーターのある物件に引っ越したいが、今より家賃の高いところは家賃が払えなくなる不安がある。
- ・子どもも大きくなり、公営住宅の家賃決定の基準額がオーバーになりつつあり、(中略)家を探さなければならなくなった。収入が増えても子どもが大きくなった分支出も増えているので生活状況はマイナスのままなのに。

Q7 現在ある公的支援(住宅支援、高速代無料<福島県母子避難者向け>、避難元情報の送付等)で改善を望む点がありますか？

	回答数	%
はい	3	7.9
いいえ	25	65.8
無回答	10	26.3

- ・広島から福島に車で一時帰宅をする際の高速代無料を続けてほしい。
- ・住宅支援が欲しい。

Q8 公的なもの、民間のものに関わらず、これから必要とする支援があればお書きください。

- ・避難元の住宅ローンの軽減、また固定資産税の減免
- ・空き家バンクの早期整備
- ・避難元への帰省時の旅費の補助
- ・日々の仕事、子どもの関係で賠償請求までたどり着けない。気持ちも原発事故のストレスに向き合えない。
- ・避難住宅支援金
- ・いじめにあった時の、学校に行けない分の塾代
- ・避難者の交流の機会

Q9 生活費を支えているものは何ですか？

(家族で避難されている世帯)

	回答数
世帯主の収入	11
配偶者の収入	1
年金	1
世帯主の収入+配偶者の収入	7
世帯主の収入+預貯金	1
世帯主の収入+配偶者の収入+預貯金	1
世帯主の収入+配偶者の収入+年金	1

(単身・母子等家族の一部で避難されている世帯)

	回答数
本人の収入	6
家族からの仕送り	2
年金	2
本人の収入+家族からの仕送り	4
無回答	1

Q10 生活費・収入は十分ですか？

	回答数	%
十分	2	5.3
まあ満足	21	55.3
苦しい	14	36.8
無回答	1	2.6

Q11 生活費・収入に関して、ご自由に

- ・母子避難なので、生活費が二重になっているので支出が多い。貯蓄に回す余裕がない。急な帰省の時など旅費が大きな負担になる。
- ・自営業でまだ軌道に乗っていない。コロナで収入も減っている。
- ・コロナ禍の影響で大変苦しい。
- ・現在のパートだと、息子の学校の行事や休校や何とか調整出来て一緒に過ごす時間も保てているけれど、息子が中学になるころには実家を出て、家を借りたい。そのためにはフルタイムになるか。
- ・無駄な買い物をしないように心がけています。
- ・ダブルワーク&生活保護レベルの家賃の物件でギリギリです。
- ・今は、夫の仕事が運よく広島に異動になったので助かった。
- ・たくさんとは言えませんが、特に困ってはいません。
- ・主人の帰宅が11時と遅く、収入は安定していますが、体調面が心配です。
- ・夫の単身赴任での社宅の期限が切れると家賃代が発生してしまうので、今後どうするか、話し合いしたが、なかなか話が進まない状態。
- ・二重生活の生活費が重く、貯金どころか子どもの教育費に思うようにお金があまりかけられない。
- ・もう少し貯金ができるくらいの余裕が欲しい。
- ・広島のみには落ち着けないため、就職ができないので、ある中で生きるのみ。

Q12 お仕事面での悩みはありますか？

- ・転職したくても、いつまで勤められるかわからず、前に踏み出せない。
- ・コロナ禍で少ない。(自分の仕事が) 不要不急と言われている気持ちになる。
- ・残業が多くて疲れる。
- ・仕事はあっても短期のみ。すぐ失業状態になる。
- ・通勤に体力・時間がかかる。
- ・避難元に帰ることを思うと再就職のことなど不安
- ・派遣なので、先が見えにくい。転職活動する時間がほとんどない。
- ・仕事、家事、育児のバランスが難しい。。技術や国家資格があればよかった

Q13 ご家族の中で健康に不安のある方はいらっしゃいますか？

	回答数	%
はい	13	34.2
いいえ	20	52.6
無回答	5	13.2

Q14 今後のご予定は決まっていますか？

	回答数	%
今住んでいる自治体へ定住	12	31.6
避難元ではないところへ移動	0	0.0
近いうちに避難元へ戻る	0	0.0
いずれ避難元へ戻る	1	2.6
決めていない	15	39.5
上記に当てはまらない	8	21.1
無回答	2	5.3

避難元に帰りたい：2
 避難先に定住したい：4
 選択なし：9

(今住んでいる自治体に定住)

- ・気に入っている
- ・子供の学校がある。
- ・持ち家がある。
- ・子供たちが広島に居るから。
- ・動けない。動く場所がない。
- ・主人の遺骨があるから。(でも、避難元に帰りたいと思う時もあります。地元の言葉で本音で会話をしたいです。)
- ・友達もやっとできた。ローンで買った家がある。
- ・住み慣れているから。子供が広島がいいと言っているから。

(いずれ避難元へ戻る)

- ・子供が避難元の土地への愛着心を育めるよう

(決めていない)

- ・状況の変化によるので
- ・そこまでまだ考えられないから
- ・子供の一人暮らしが可能になるまでなので
- ・本当にどちらとも決められない。避難元に持ち家でローンもあるが、原発事故後の不安は解消されたわけではない。
- ・もう少し田舎に住みたいと考えていますが、子どもの中学・高校を考えたら今の場所が良いのか。でもここは家賃も高く、畑もないです。
- ・転勤するまで
- ・今後、親の介護もあり得るため実家（避難元ではない）に戻る可能性もあり、かなり流動的な時期を迎えます。
- ・住みたい場所がないが、現在の場所は好みではない。
- ・避難元の家族との話が決まらない。
- ・原発への不安は続いている。地震に関しても。しかし、親の今後の健康が心配。
- ・実家で生活しているが、親の将来や子供の将来で住む場所を考えている。
- ・不確定要素が多く、先を決められるほどの見通しがあまりたたない。目の前のことで精いっぱい。

(上記には当てはまらない)

- ・学業が修了したら、その後の進路で決める予定
- ・しばらくは現在の場所に住むつもりですが、さまざまな状況に寄っては移動することがあるかと思っています。
- ・気持ちが元気な時と、元気じゃないときで答えが変わってしまってしまう。元気であれば定住ですが、この
 の
 記入している今は元気ではなく、わかりません。
- ・主人の仕事次第で全国どこになるかわからないが、できれば福島の近くに移動出来たらうれしい。

- ・子供たちが成長したら、もっと自然のあるところで暮りたいので他への移住もある…かなと思います。
- ・もう少し落ち着いたらきっと定住ってなるのかな。
- ・子供たちが成長し、本人の意向により残りの子に寄り添うため。実母の世話があるので、帰ることへの話になれない、ならない。

アンケート回答の割合では「上記に当てはまらない」も含めると、定住と決めていない人は6割超。定住3割。避難元には帰りたくないという思いが強かった人が、親の老後の心配などから、避難元に帰る気持ちが芽生え、迷いだしている人も複数見られた。「年月と共に定住と決める割合が増えていく」ということにはなっていない。

Q15 今、大変なこと、つらいことは何ですか？

(複数回答あり)

	回答数	%
仕事が見つからない	1	2.6
仕事にやりがいを感じない	1	2.6
生活費が足りない	8	21.1
支援が縮小していくこと	3	7.9
避難指示が解除されたこと	0	0.0
避難指示が解除されそうなこと	1	2.6
体調不良	5	13.2
忙しすぎる・自分の時間がないこと	10	26.3
親の介護	5	13.2
育児	2	5.3
子どもの教育・進路	13	34.2
家族バラバラに暮らしていること	7	18.4
避難元の親・親戚・友人になかなか会えないこと	17	44.7
心の余裕のなさ・精神的な不安定さ	3	7.9
家族間の意見の不一致(夫婦間、パートナーと自分)	3	7.9
家族間の意見の不一致(自分と親)	3	7.9
家族間の意見の不一致(自分と子ども)	0	0.0
避難元が復興しないこと	1	2.6
避難元の復興が望む形と違うこと	2	5.3
避難元に帰れないこと	5	13.2
今住む地域に親しい友人がいないこと	4	10.5
避難元の友人と疎遠になってしまったこと	4	10.5
震災や原発事故のことが世間から忘れられているように感じる	10	26.3
原発が再稼働されたこと	7	18.4
避難先の人たちと意識の差を感じる	9	23.7
避難への無理解	5	13.2
特になし	2	5.3
その他	3	7.9
無回答	2	5.3

- ・原発事故による子供の体調への不安
- ・避難元の人々（友人や家族を含めて）の原発事故に対する意識の変化や風化
- ・近くに原発があり、最近地震が増えている。
- ・（市内に出るのに）交通費がかかるので、なかなかアスチカに顔を出せない。
- ・避難したことを（ひどく）責めた母がもし死んだら葬式に行くか行かないか。
- ・また地震もあり、原子力は何も片付いてない点。
- ・コロナの影響で実家の親に会えず、1年半程経ちました。高齢なので、また、早めに会いに行きたいです。

「避難元の親・親戚・友人になかなか会えないこと」は年数と共に自分の寂しさも募り、寂しい思いを親にさせているという思いなどの重さが増している印象。

Q16 今後、どんなことに不安がありますか？

（複数回答あり）

	回答数	%
避難先の生活が安定するか	6	15.8
自分の健康が保てるか	16	42.1
家族の健康が保てるか	12	31.6
避難し続けられるか	3	7.9
公的支援がいつまで続くか	2	5.3
避難指示が解除されること	1	0.0
子どもをしっかり育てられるか	7	18.4
子どもの教育・進路	10	26.3
家族と一緒に暮らせるか	5	13.2
夫婦の関係が悪化しないか	3	7.9
避難元の親・親族との関係、付き合い	6	15.8
避難元へ帰れるか	0	0.0
避難元へ帰らなければいけないこと	1	2.6
避難元へ帰った時に孤立しないか	0	0.0
避難元にいる親の老後・介護	13	34.2
避難先での人間関係	5	13.2
特になし	2	5.3
その他	3	7.9
無回答	3	7.9

- ・近い将来、介護を一人ですることになることへの不安
- ・避難元ではないが、親の介護。避難元にいる頃は2～3時間で行ける場所だったが、今はそうはいかない。
- ・広島の実母の今後。置いて戻れない。

「避難元にいる親の老後・介護」への不安は数年前から大きくなってきているが、心配や不安の内容が少しずつ具体的に表現されるようになってきた印象。3.11から10年経ち、親の健康不安が見えてきたり、子育ての終わりの時がイメージできるようになったりしたことが影響しているのではないかと感じる。

Q17 震災から間もなく10年の時期になって、変化してきたことは何ですか？良いことでも悪いことでも気づきがあれば教えてください。

(複数回答あり)

	回答数	%
気持ちが穏やかになってきた	10	26.3
あきらめのような気持ちが強くなった	12	31.6
生活が安定してきた	8	21.1
楽しいことをしようという気持ちになってきた	14	36.8
無気力になってきた	2	5.3
前向きな気持ちになってきた	8	21.1
将来への不安が強くなった	5	13.2
広島に定住する気持ちが固まった	3	7.9
避難元へ帰りたい気持ちが強くなった	2	5.3
怒りが強くなった	1	2.6
変化はない	5	13.2
その他	8	21.1
無回答	1	2.6

(その他)

- ・避難元の両親の健康不安
- ・前向きな気持ちと、すべてから逃げたくなる気持ちが行ったり来たりする。天気とか気候、季節に影響されることも多い。
- ・親類や母も年を取ってきて、私が手伝うことが増えてきた感じです。私も10歳年をとって生きることをしっかりやりたい気持ちがあります。
- ・避難元(ホットスポット)の両親が年を取り、健康面の心配があり、そばに居たい気持ちが出てきて迷っている。
- ・以前は避難元に出向くのが怖いと思っていたが、今はそのような気持ちが薄れてきた。食べ物も以前ほど気にならなくなってきた。
- ・10年経っても何も変わらず、やっと生活している感じです。一日一日とりあえず頑張る。

「あきらめのような気持ちが強くなった」、「楽しいことをしようという気持ちになってきた」と二極化しているように見えるが、この二つを同時に選んでいる人も少なくない。「あきらめのような気持ちが強くなった」から「楽しいことをしようという気持ちになってきた」という人もいるということになる。

Q18 自分を「避難者である」と言うことに抵抗はありますか？

	回答数	%
とても抵抗がある	4	10.5
少し抵抗がある	11	28.9
あまり抵抗はない	15	39.5
全く抵抗はない	6	15.8
その他	1	2.6
無回答	1	2.6

とても抵抗がある

- ・東京からなので理解を得られるとは思わないので
- ・大きな揺れを経験しただけで被災したわけではないから

少し抵抗がある

- ・落ち着いた生活が出来ているから。
- ・東日本大震災から 10 年になり、すっかり世間には過去のことと思われているように感じる
- ・周りの人々に（中略）わかってもらうまでには相当時間がかかる。みんな忙しすぎてそのような時間がない。
- ・東京ではいつも通りなので、避難元が東京なのは言いにくい。
- ・受け取る人がどう受け取るかわからないから。

あまり抵抗はない

- ・今まで避難者であると言って嫌な思いをしたことがないため
- ・避難者としてやるべきことがあると思えるようになったから
- ・原発事故が終わっていないので避難者だと思う。同じような仲間のことも避難者だと思ってつながっている気持ちがある。
- ・広島の人に知ってもらうことも必要だと思うので。
- ・実際その通りなので。

全く抵抗はない

- ・原発事故による避難だから
- ・震災直後は抵抗あったが、少しずつ震災のことを伝えようという気持ちになったため。
- ・避難者ですか？と聞かれれば「そうです」ってしか答えられないし、聞かれなければわからないことだと思うけど、しゃべるとバレる。

これまでの体験からの気持ちがあったり、「避難者」という言葉の捉え方が人によって違ったりすることが見て取れる。

Q19 今、楽しいこと、楽しみにしていることはありますか？

	回答数	%
はい	28	73.7
いいえ	6	15.8
無回答	4	10.5

日々の生活／登山／趣味／スポーツ／畑作り／旅行／趣味のアンサンブルの友人と音楽を楽しむこと／一人でいる時間が作れていること。10分ほどでも気持ちがリフレッシュできる／子供の成長／おいしいご飯を食べる／おいしいお酒を飲む／子供との会話／ピアノを習い始めた。練習すれば必ず弾けるようになる過程が苦しいけど楽しい。忙しい毎日の中で私の時間だなーと思えるのもうれしい。／家族との時間／帰省／プランターで野菜作り／カープやサンフレの応援／コロナが落ち着いた後の活動等／実家のネコに会う／コーラスサークルに誘われ、歌を歌える（でも、今、コロナで休み）／娘の興味ある漫画や音楽を自分も読んだり聞いたりすること／子供と図書館で本を借りること／広島美味しい食材で料理すること／娘のフットベースボールの試合を見に行くこと／子供との趣味の共有（釣り・漫画・カープ・バレーボール）／地域のことを知って散歩できるようになった／コロナ後に娘と海外旅行したい

Q20 アスチカに求めているもの、会員でいることの理由は何ですか？

(複数回答あり)

	回答数	%
他の避難者と知り合うため	8	22.9
避難者同士のつながり(交流会などには出ずとも)	25	71.4
アスチカニュースなどが届くこと	20	57.1
ご招待、支援物資などの情報獲得	15	42.9
公的支援の情報獲得	11	31.4
さまざまな催しの情報獲得	13	37.1
避難者であることの自己確認(「自分＝避難者」であることを確かにする)	7	20.0
困った時の相談場所として	24	68.6
精神的支え	13	37.1
避難者同士の情報交換のため	11	31.4
その他	2	5.7

(その他) ・健康相談会・エコー検査体験会。

今後も交流カフェは必要ですか？

	回答数	%
必要	19	50.0
不要	11	28.9
無回答	8	21.1

アスチカニュースは必要ですか？

	回答数	%
必要	34	89.5
不要	4	10.5
無回答	0	0.0

月に一回、会員向けの情報紙「アスチカニュース」やイベントのチラシ等を届けている。それが届くことが情報を得るだけでなく、つながりを持っていること、一人ではないと実感する機会になっている。

Q21 「アスチカがあってよかったと思った瞬間があれば教えてください。ささやかなものでもかまいません。

- ・同じような境遇の人が近くにいるという安心感、つながり
- ・手紙が届くだけで“誰かのために”と活動している人たちの優しさのイメージが私をととても癒してくれます。日々忙殺されていて、自分のことばかりになっているのを立ち止まらせてくれることにもなっています。いつもありがとうございます！
- ・避難してきて大変だったことや不安な気持ちを出せる場所がこしかないので、改めて自分の状況と向き合えました。このアンケートがあることが、しんどいけど書くことで気持ちが整理される気がします。読む方のことを考えず書いてしまい申し訳なく思います。
- ・広島に来たばかりのころ、避難元と繋がれる場として心強かった。両親を呼び寄せる時も何かあったら相談できる場所があることは大きな支えだった。
- ・交流カフェ等で避難者同士の交流ができたとき
- ・なんでも話ができること
- ・避難者同士で話ができること。そこでしかできない会話もある。ホッとする。
- ・余裕のない経済状態で旅費の補助をしていただけだったこと。本当に助かりました。
- ・心が折れそうなき、ふと存在を思い出せること。
- ・広島で初めて避難者の方と話をしたのがアスチカさんでした。安堵感や気が楽と感ずることができました。
- ・福島弁で話せること。
- ・アスチカニュースを読むと安心する
- ・人とつながったとき。
- ・困ったとき、いつも笑顔で寄り添ってくれる。精神的支えになっています。ありがとうございます。
- ・故郷を忘れたくないし、ずっと福島県を大切にしたいからアスチカの情報紙が届くと元気になります(笑)また頑張ろうという気持ちになります。

Q22 アスチカを退会するのはどうなった時ですか？

(複数回答あり)

	回答数	%
広島を離れる時	20	57.1
「もう避難者ではない」という気持ちになった時	1	2.9
支援や情報が必要なくなった時	7	20.0
自立できたとき	1	2.9
アスチカの活動終了時まで会員でいる	19	54.3
その他	1	2.9
無回答	0	0.0

(その他)

- ・原発事故が終わったとき

それぞれが広島でいろいろな人や社会とのつながりを作って生活をしているが、3.11をきっかけに広島で暮らすことになった者同士というコミュニティーは、会員にとって広島での生活が落ち着いたからといって必要なくなるものではないのだと、アンケートを重ねるごとに感じている。

Q23 広島の中で心許せたり、頼り合ったりできる人とのつながりはできましたか？

	回答数	%
はい	27	77.1
いいえ	10	28.6
無回答	1	2.9

(「はい」の人)アスチカがなくとも成り立つ？

	回答数	%
はい	24	88.9
いいえ	2	7.4
無回答	1	3.7

(「いいえ」の人)なぜ？(複数回答あり)

	回答数	%
出会いがない	2	20.0
時間がない	2	20.0
出会う場に行っても見つからない	0	0.0
必要としていない	0	0.0
無回答	6	60.0

- ・友人はいても、避難元の友人のような気持ちはないので
- ・自分より他人の大変さに目がいて自分の気持ちが出せない。
- ・なぜか知りたいです。

〈参考〉 もしも新型コロナウイルス感染症の感染者や濃厚接触者となって自宅療養・自宅待機となったとき、生活物資の入手などでアスチカのサポートが必要ですか？

	回答数	%
必要	10	26.3
不要	12	31.6
わからない	12	31.6
無回答	4	10.5

Q24 避難先での生活の中で、不足していると思うことはありますか？(「あと、これが揃えば(得られれば)、ある程度満たされた状況・気持ちで過ごせる」と思うもの)

	回答数	%
ある	15	42.9
ない	17	48.6
無回答	6	17.1

子供の逃げ場。母子(生活)なので…/整った住環境/自己肯定感?/良い物件との出会い/両親に気軽に会いにいけないこと(コロナもあり、県外への移動が難しいため)/畑のある家かな?友達を呼べる家/自身が病気やけがで動けなくなった時に子供たちを見てくれる人。ファミサポ等登録しているが、事前予約が必要で

急用の時に使えず困った/両親に孫の顔を見せてあげられないこと。コロナもありさらに会えず…。子供達もそこは寂しさを感じています/現金/ご近所さんとの温かいつながり/避難者の存在を世の方に知ってもらうこと/コロナで私の仕事が激減してしまったので、新しい仕事を増やしたい/マイホーム/先が見通せる仕事/金銭的、精神的、時間的余裕

全体を通して。

避難者が今の生活の中で感じている困りごとや心配なことは、避難者でない人が持っているものと同じものも少なくありません。ただ、3.11後に人間関係一つから生活を作ってきたり、3.11がなければ避難元を離れる選択はしなかったという思いがあったりする避難者にとっては、困りごとや心配事への対応の重さが割増しになるという面があることは、多くの避難者を見ていて感じるところです。

【宮城県から避難している方】(回答数:1)

問a 避難者であることで嫌な思いをされましたか？

	回答数
はい	0
いいえ	1

(放射能が理由で避難した方)

放射能を気にすることに対し、避難元で周囲の理解はありましたか？

	回答数
あった	0
なかった	0
多くは理解がなかったが、仲間はいた	1

【福島県から避難している方】(回答数:23)

問b 福島県から来ていることで、これまでに「放射能」に関わることで嫌がらせやいじめをうけたことはありますか？

	回答数	%
はい	1	4.5
いいえ	21	95.5

問c 福島県に言いたいことはありますか？

- ・応援しています！
- ・高速料金の無料を継続してほしい
- ・土壌の汚染と健康被害の長期的調査、発表
- ・被害の保障をしてほしい。
- ・原発事故後の作業の進捗→放射性物質の拡散及びデブリ回収の具体的内容の公表

【関東圏から避難している方】(回答数:15)

問d 避難者であると周りの方に伝えていきますか？

	回答数	%
常に伝えている	1	6.7
一部の人にだけ伝えている	8	53.3
以前は伝えていたが、今は伝えていない	3	20.0
以前は伝えていなかったが、今は伝えている	0	0
以前も今も伝えていない	1	6.7
無回答	1	6.7

問 e 避難者であると伝えたことで嫌な思いをされましたか？

	回答数	%
はい	6	40.0
いいえ	8	53.3
無回答	1	6.7

(「はい」の方)

- ・気にしすぎる人というレッテルを裏で貼られる。
- ・理解してもらえないとき
- ・なぜ関東から？と思われ会話が止まる。
- ・東京・横浜から来たというだけで態度が冷たくなる。
- ・(無関心で) 反応がない。

問 f 避難元で放射能を気にすること、避難することに周囲の理解はありましたか？

	回答数	%
あった	1	6.7
なかった	3	20.0
多くは理解がなかったが、仲間はいた	9	60.0
無回答	2	13.3

問 g 今、望むことは何ですか？

(複数回答あり)

	回答数	%
関東圏からの避難への理解	7	46.7
支援範囲の拡大	4	26.7
住宅確保サポート	2	13.3
就職サポート	2	13.3
関東圏から避難している人との交流	5	33.3
その他	2	13.33

問 h 避難元自治体に言いたいことはありますか？

- ・10年目になり、風化してしまいそうだけど、まだ終わっていない。忘れてはいけない。他人事としないでほしい。
- ・避難元はホットスポットになっている。子供たちの検査をしてあげてほしい。無料で。
- ・いろいろ施策を考へるときの安全とする数値が高く、有効性がない。そこを変えてほしい。
- ・就職面での援助
- ・子供たちの学校給食の食材を配慮してほしい。